

殿

# 材料試験報告書

令和 年 月

試料名 S-40 材料試験

福井県勝山市遅羽町蓬生32字榎木嶋94番の2  
九頭龍砕石株式会社

TEL(0779)88-3411





## 試験結果一覧表

試験依頼者	会社名	九頭龍砕石株式会社					
	所在地	福井県勝山市遅羽町蓬生32字榎木嶋94-2					
試料採取日	令和6年2月22日						
試料採取地	骨材堆積場						
試験日	令和6年2月22日～令和6年3月24日						
試料名		産地					
S-40		九頭竜川中流域					
試験項目		試験結果	規格値 <sup>※</sup>	判定	頁		
ふるい分け試験	JIS A 1102 (JNLA認定)	呼び寸法	公称目開き				
		100 mm	106 mm	100			
		80 mm	75 mm	100			
		60 mm	63 mm	100			
		50 mm	53 mm	100	100		
		40 mm	37.5 mm	98	85～100		
		30 mm	31.5 mm	12	0～15		
		25 mm	26.5 mm	6			
		20 mm	19 mm	1			
		15 mm	16 mm	0			
		13 mm	13.2 mm	0			
		10 mm	9.5 mm	0			
		5 mm	4.75 mm	0			
		2.5 mm	2.36 mm	0			
		1.2 mm	1.18 mm	0			
		0.6 mm	600 μm	0			
		0.4 mm	425 μm	0			
0.3 mm	300 μm	0					
0.15 mm	150 μm	0					
0.075 mm	75 μm	0					
粗粒率		—					
単位容積質量試験	JIS A 1104 (JNLA認定)	単位容積質量	kg/ℓ	1.60		4	
		実積率	%	61.1			
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110 (JNLA認定)	表乾密度	g/cm <sup>3</sup>	2.67		5	
		絶乾密度	g/cm <sup>3</sup>	2.62	2.45以上		合格
		見掛密度	g/cm <sup>3</sup>	2.74			
		吸水率	%	1.59	3.00以下		合格
すりへり試験	JIS A 1121 (JNLA認定)	すりへり減量	%	16.0	50以下	合格	6
技術管理者		榎田 直也					
試験担当者		清水 享					

※：依頼者の情報による

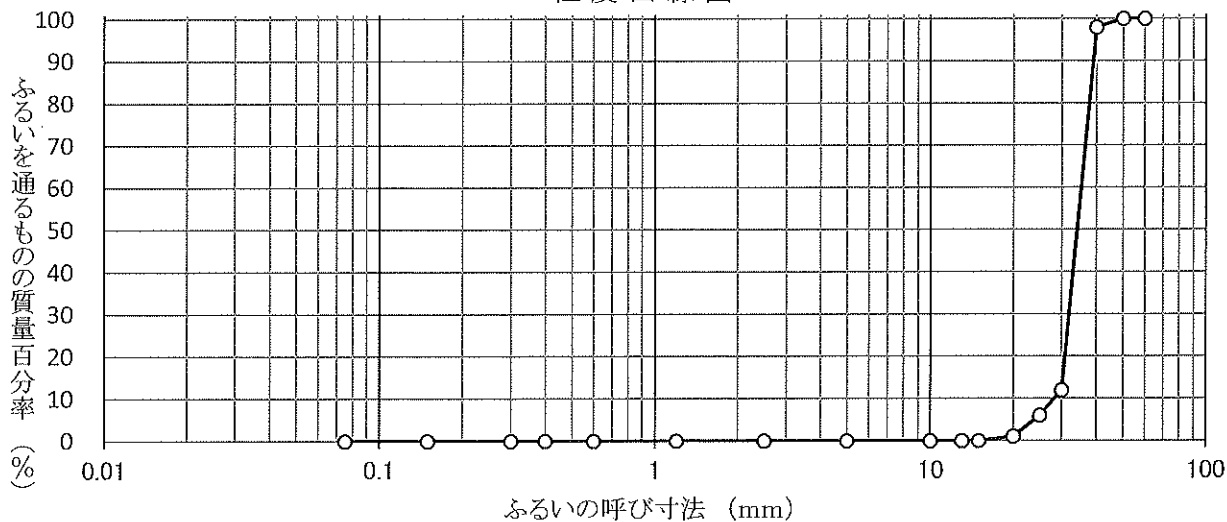
試験規格 JIS A 1102

ふるい分け試験

試験担当者： 清水 享

試験日	令和 6 年 3 月 4 日			
試料	種類	S-40	最大寸法	40 mm
	産地	九頭竜川中流域		
	採取日	令和 6 年 2 月 22 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	8128	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
100	0	0	0	100
80	0	0	0	100
60	0	0	0	100
50	0	0	0	100
40	133	2	2	98
30	6988	86	88	12
25	527	6	94	6
20	403	5	99	1
15	60	1	100	0
13	9	0	100	0
10	2	0	100	0
5	0	0	100	0
2.5	0	0	100	0
1.2	0	0	100	0
0.6	0	0	100	0
0.4	0	0	100	0
0.3	0	0	100	0
0.15	0	0	100	0
0.075	0	0	100	0
受け皿	5	0	100	0
合計	8127	100	-	-
試験前後の質量差 (%)	0.01	粗粒率	8.01	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者 : 清水 享

試験日			令和 6 年 3 月 22 日	
試料	種類	S-40		
	産地	九頭竜川中流域		
	採取日	令和 6 年 2 月 22 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	22.666	22.655
	試料の質量=(2)-(1) (kg)	$m_1$	15.966	15.955
	単位容積質量= $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.60	1.60
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\bar{T}$	1.60	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )	$d_D$	2.62	
	実積率= $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	61.1	

試験規格 JIS A 1110

## 粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者: 清水 享

試験日			令和6年3月8日	
試料	種類	S-40		
	産地	九頭竜川中流域		
	採取日	令和6年2月22日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	$m_1$	4235.9	4401.5
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	$m_2$	3048.0	3152.0
	金網かごの水中質量 (g)	$m_3$	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$\rho_w$	試験水の温度 20 °C	
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$D_s$	2.67	2.67
	2回の試験の平均値 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$\bar{D}_s$	2.67	
平均値からの差 (規格値:0.01 $\text{g}/\text{cm}^3$ 以下)			0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	$m_4$	4169.1	4333.0
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$D_d$	2.62	2.62
	2回の試験の平均値 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$\bar{D}_d$	2.62	
	平均値からの差 (規格値:0.01 $\text{g}/\text{cm}^3$ 以下)			0.00
見掛密度	見掛密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_4 - (m_2 - m_3)}$ ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$D_d$	2.74	2.74
	2回の試験の平均値 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$\bar{D}_d$	2.74	
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	$Q$	1.60	1.58
	2回の試験の平均値 (%)	$\bar{Q}$	1.59	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.01

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	温度 (°C)	密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	温度 (°C)	密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

## ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 清水 享

試験日		令和6年3月22日					
試料	種類	S-40					
	産地	九頭竜川中流域					
	採取日	令和6年2月22日					
	採取場所	骨材堆積場					
ふるいの寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 m <sub>1</sub>
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	質量百分率 (%)	A~G	6~12	500または1000	(g)
2.5	—	0	0				
5	2.5	0	0				
10	5	0	0				
13	10	2	0				
15	13	9	0				
20	15	60	1				
25	20	403	5				5000
30	25	527	6				5000
40	30	6988	86				
50	40	133	2				
60	50	0	0				
80	60	—	—				
100	80	—	—				
合計		8122	100	G	12	1000	10000
試験後1.7mmふるいに 残った試料の質量 (g)		m <sub>2</sub>		8399			
すりへり損失質量 (g)		m <sub>1</sub> - m <sub>2</sub>		1601			
すりへり減量 (%)		$\frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$		16.0			

